

イノセンス運動

いま の現在

せつ えん 雪冤事件から考える



2020年、えん罪救済センターが支援した2件の事件で無罪判決が確定しました。そこで本シンポジウムでは、これまでのセンターの活動を振り返りつつ日本のえん罪救済・刑事司法制度の問題点を検証し、今後のえん罪救済活動のあるべき方向性を提言したいと思います。ふるってご参加ください。

開催方法

**参加申込み制の
オンライン開催**です。

申込みと接続方法は次頁をご参照ください。

開催日時

2020年 **10**月 **31**日 **土曜日**
14時 ~ **16時40分**

開催内容

1. はじめに
2. 支援事件報告
(湖東記念病院事件, AHT事件)
3. パネルディスカッション
4. 質疑
5. 台湾イノセンス・プロジェクトからのメッセージ
6. おわりに

詳細は次頁



※ 変更の可能性もあります。予めご了承ください

申込み方法



こちらのQR
コードからも
お申込みいた
だけます

下記URLへアクセスの上、ご参加いただくご本人の

①お名前、 ②メールアドレス、 ③（あれば）ご所属
をご登録ください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_iMe5BZjDSD2kgsMS6nhJ_w

👉 zoomの「ウェビナー登録」というサイトにつながります

接続方法



上記へご登録いただいた方に、接続アドレスと接続方法をご案内
いたします。

プログラム



プログラムには変更の可能性もあります。予めご了承ください

総合司会：城使洸司（えん罪救済センター運営委員／大阪弁護士会）

1. はじめに 徳永 光（えん罪救済センター運営委員／獨協大学教授）

2. 支援事件報告

(1) 湖東記念病院事件 池田良太（えん罪救済センター運営委員／京都弁護士会）

(2) AHT事件 宇野裕明（大阪弁護士会）

※ AHT：虐待による頭部外傷 (Abusive Head Trauma)

休 憩

3. パネルディスカッション

パネル司会：知花鷹一郎（えん罪救済センター運営委員／大阪弁護士会）

パネリスト：吉田謙一（大阪府監察医事務所監察医務監／東京大学名誉教授）

池田良太（えん罪救済センター運営委員／京都弁護士会）

笹倉香奈（えん罪救済センター副代表／甲南大学教授）

4. 質疑

5. 台湾イノセンス・プロジェクトからのメッセージ（台湾冤獄平反協会）

羅 士翔（台湾イノセンス・プロジェクト代表／台湾弁護士）

6. おわりに

稲葉光行（えん罪救済センター代表／立命館大学教授）

主催 えん罪救済センター（Innocence Project Japan：IPJ）

共催 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構

本シンポジウムに関する問合せ先

えん罪救済センター事務局

ipj2015@outlook.com



「修復的司法観に基づく少子高齢化社会に寄り添う社会の構築」

立命館大学 人間科学研究所 「えん罪救済センタープロジェクト」